

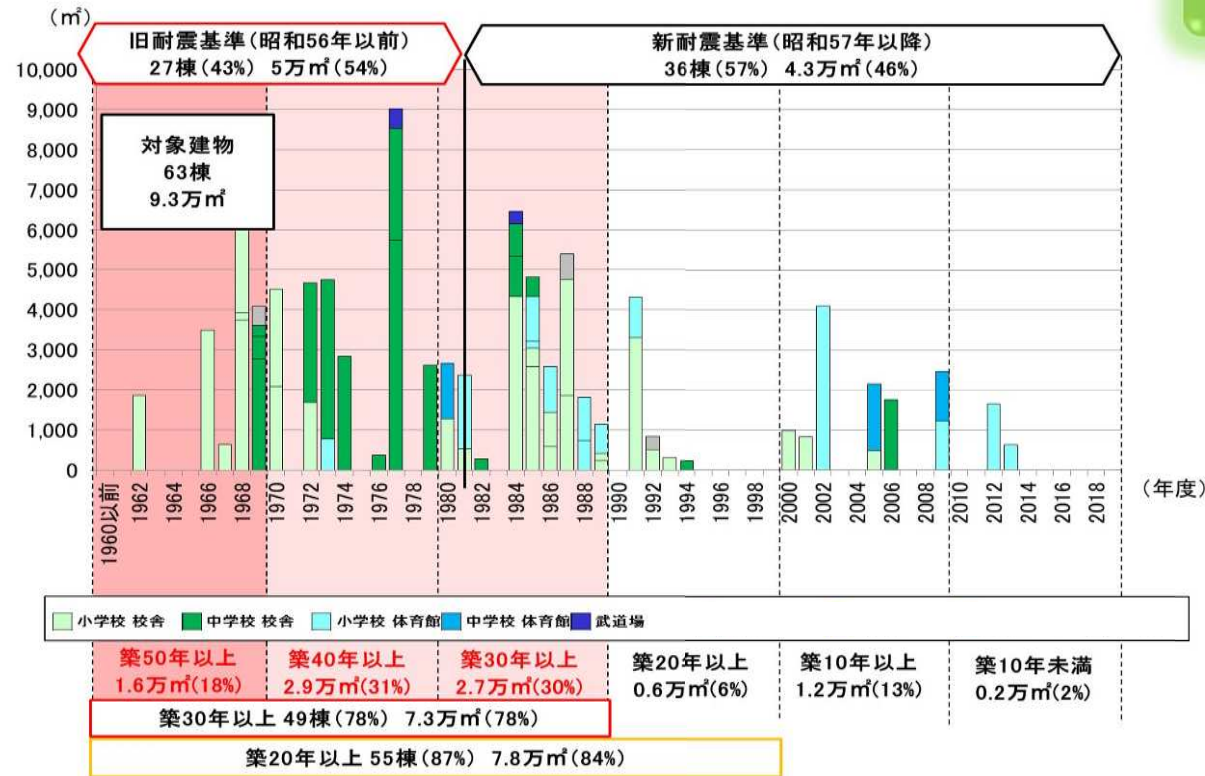
# 高島市学校施設長寿命化計画概要版

計画期間 2020(令和2)年度から2024(令和6)年度までの5年間

高島市教育委員会 学事施設課

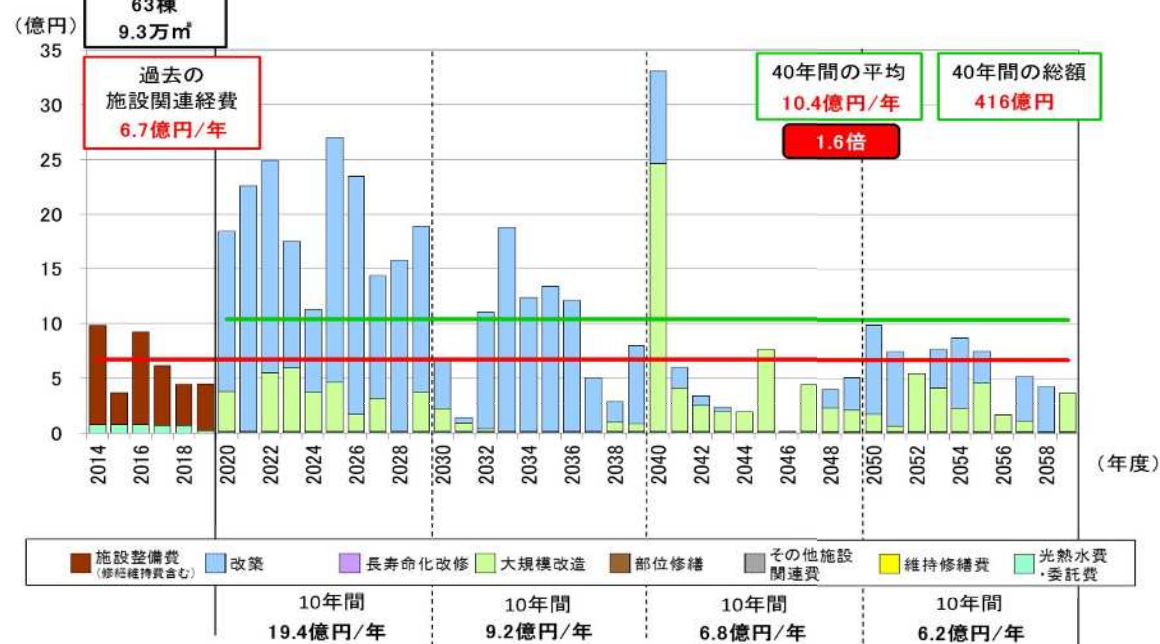
## 学校施設の実態

### 築年別整備状況



- ・ 小学校 13校 (延床面積 57,404 ㎡)、中学校 6校 (延床面積 35,382 ㎡)
- ・ 築30年以上経過しているものが49棟およそ7.3万㎡あり全体の78%を占めています。

### 今後の維持・更新コスト(従来型)



- ・ 50年で改築する方法を続けた場合、今後40年間の費用は416億円に上ります。

## 計画の目的

施設の長寿命化を推進し、中長期的コストの縮減、財政負担の平準化を図ります。

## 位置付け

文部科学省が掲げる「公立学校施設に係る個別施設計画」に該当します。

## 施設整備の基本方針 適正配置を考慮しながら、長寿命化による80年の使用を目標とします

### 1. 改修方法のシフトと長寿命化

維持修繕を行いながら、予防的な改修工事を計画的に実施します。また、維持管理・改修にかかる費用の縮減と予算の平準化のため、対象となり得る施設の長寿命化改修工事を実施します。

### 2. 学校の適正配置

今後の児童数および生徒数の推移を十分検討しながら、統廃合の検討を行います。

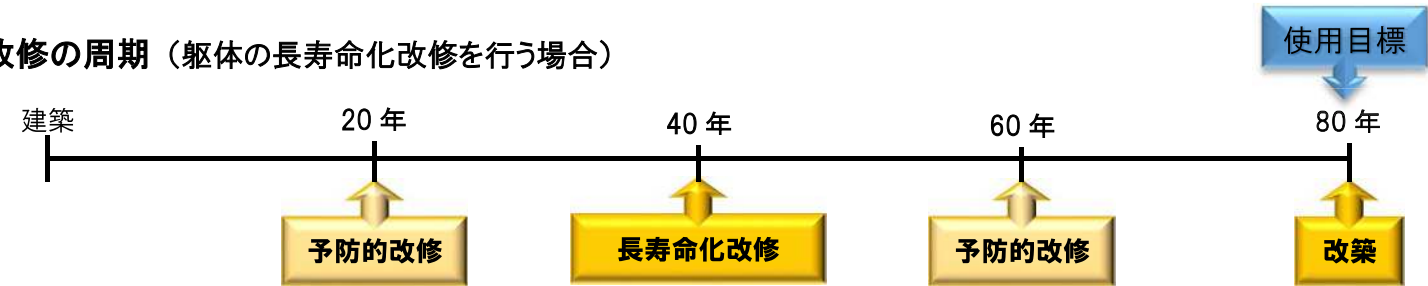
### 3. 防災拠点としての学校の在り方

避難所として必要な防災機能を備えるように努めます。

### 4. 地域拠点としての学校の在り方

地域拠点として住民等が学校施設の利用や学校活動への参画ができるように必要な整備を推進します。

### ○改修の周期(躯体の長寿命化改修を行う場合)



## 長寿命化改良工事等の実施計画

### ① 優先順位の考え方

適正配置、築年数、老朽化度、過去の改修状況を総合的に考慮して工事の順序や対象校を決定します。

### ② 今後の実施計画

- ・ 長寿命化改修の対象校 築50年以内で、これまでに大規模改造工事を実施していないことを優先に、学校規模適正化と本市財政状況を考慮しながら決定
- ・ その他の学校 予防的な改修工事を行い、可能であれば80年まで使用することを目標

### ○本計画期間における優先順位

順位	1	2	3	4以降
実施時期	本計画期間の2024年度までに実施			3校実施後
学校名	新旭北小学校	朽木中学校	今津中学校	適正配置、老朽化度を考慮しながら決定
改修方法	予防的な改修(大規模改造)	予防的な改修(大規模改造)	長寿命化改修【複数年計画】	